

## 自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 Go!Go!南の会

テーマ 効果的な動画配信の研究

## 取組のポイント・成果

## ○取組の内容とポイント

コロナ禍でオンライン授業時に「パワーポイントやホワイトボードを切り替えて使う方法よりも、もっと生徒に情報を伝えられるような動画配信を行いたい」との思いで今回の活動を始めました。私たち「Go!Go!南の会」は5人教員のチームです。8月・9月はYouTubeでオンライン配信を行っている動画や実際にオンライン配信に参加した経験から良かったことを意見集約しどんなことをできるのかを研究しました(図1)。また、仕事で映像の編集や動画作成を行っている方とZoomなどリモートでつなぎ、動画や動画配信で気を付けることを教えていただきました。10月には配信の機材が納品されましたので、先生方と一緒に使い方を学ぶ時間を作りました。動画配信する場面をオンライン授業、卒業式など体育館行事、体育祭等屋外で行う行事の3場面を想定しそれぞれの機材の構成などを計画しました(図2)。



図1 動画配信でよかったことまとめ



図2 配信場面による機材セット例

## ○成果

オンライン授業では先生とプレゼンテーションを同時に見られるように先生を映すカメラの緑の背景をクロマキー処理しプレゼンテーションに合成することを研究しました(図3)。今までは小窓で先生を映すことができたが、見る人によっては表示を消してしまうことも想定できるため、資料だけではなくスライドと先生の表情なども伝えることができ多くの情報を伝えることができるようになりました。



図3 クロマキー処理している様子

## 今後の課題

動画配信において、先生の表情を入れることによって、多くの先生方が「いいね」って言ってもらえることができました。今回の研究ではパソコンを使ってのリアルタイムクロマキー処理が行えましたが、「どのような場面でどれぐらいの大きさを先生の映像を使うのか。」また「映像が入ったことによってパワーポイントなどのスライド資料の作り方の工夫」など、見せ方にももっとこだわってできるようにするためにはどんなことに気を付ければよいのかを今後の課題として考えていきたいです。

その他に体育館などHDMIケーブルを長く使う場面では、HDMIの映像信号をLANケーブルに変換して長く信号を伝える方法では長時間使用時において不安定であったので、安定的に行える手段や道具の選定も考えていきたい。今回チームで研究させていただいたことを学校の職員にもインフォメーションなどを通じて技術共有していきたいと思っております。